

<岸和田市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

小学校

24校に図書館コーディネーターが、週に2日、合計12時間ずつ配置されている。(2校に1人)

主に、読み聞かせ・ブックトーク・本の紹介・選書・本の貸し出しや返却・本の整理や修理等の活動をしてきている。この週に2日、合計12時間ずつ配置により、児童の読書活動の幅も広がり利用も増えている。常時配置を希望

必要に応じて、岸和田市立図書館から本の貸し出し、地域によっては、岸和田市立図書館からなかよし号巡回

中学校

全校11校とも、週に1回ずつコーディネーターが配置され、図書室の整備や本の整理やお知らせの掲示・新刊の搬入などの活動をしている。

1人のコーディネーターが3校～4校を週1回6時間で担当している。

小学校に比べ、生徒と関わる時間が少ない。図書館コーディネーターたちは、「図書室に来る生徒はとてもかわいい。」との感想を持ってきている。週に1回ではなく、毎日ではなくとも、週3回ぐらい配置されるとありがたい。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

岸和田市学校図書館協議会に、

岸和田市内の全中学校と小学校が加盟

4月・・・総会

9月・・・読書感想文コンクール審査会

12月・・・読書感想画コンクール審査会

2月・・・「本を読もう」冊子発行

(役職等は、会長・副会長・書記・会計・ブロック委員

本を読もう・読書感想文・読書感想画)

地域の有志の活動として、「岸和田市子ども文庫連絡会」と「ユーカーリ」(本の読み聞かせや紹介)

司書教諭は、担任も兼務していか、時間軽減がなく、仕事の時間が時間外になることが多い。

3. 学校図書館の具体的な活動例

・雨の日に図書委員による紙芝居
学期に1回の読書週間での図書委員の紙芝居

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

① コンピュータを活用している小学校
(Win書庫)

山直南・八木北・浜・城北・常盤・東葛城・旭・東光・山滝・太田・八木南・八木・山直北小学校

② コンピュータの活用を予定している小学校
春木・城内・城東小学校

③ コンピュータの活用を予定していない小学校
修斉・朝陽・中央・天神山・光明・新条・大芝・大宮小学校

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

絵本コーナーでは、児童がゆったりとした気持ちで読めるよう畳やカーペットを敷いている学校もある。

主に肢体不自由のある児童の読書姿勢を考慮して、座卓の使用を予定している。

図書室入室の段階で上靴を脱ぐので、図書室自体も比較的清潔に使用できている。

主にNDCの10分類で図書を分類しているが、新しい本のコーナーやバリアフリー・平和学習・作家コーナー・お勧めの本のコーナー・料理の本りコーナー・寄贈本のコーナー等、必要に応じて設置している。

<貝塚市>

1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、 行政からのサポート

- ・学校図書館司書の配置（1小1中につき隔週1名）

主に、本の貸し出しおよび返却、本の修理、本の紹介、授業に関する本の収集、読み聞かせ、図書室の整備、図書館だよりの作成等

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

- ・子ども読書活動推進連絡協議会
- ・学校図書館担当者会議（学期に1回程度開催）
- ・貝塚市教育振興会 学校図書館部

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・本の貸し出しおよび返却
- ・学校図書館部より課題図書の見出しと読書感想文の書き方を児童に配布（夏季休業前）
- ・図書委員による学期に1回の「読書週間（月間）」の活動（読み聞かせ、おすすめの本の紹介、しおりづくり、ビブリオバトル等）

4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・貝塚市内小中学校すべて原簿管理

5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・NDCに基づく10分類で図書を分類
- ・さまざまな図書コーナー（新しい本コーナー、今月のおすすめコーナー、寄贈本コーナー、作家コーナー等）の設置
- ・地域ボランティアによる絵本・紙芝居の読み聞かせなど

<泉佐野市>

1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、 行政からのサポート

- ・学校図書館司書の配置
（小学校には週1回配置）
（中学校には週2回配置）

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

- ・子ども読書活動推進連絡協議会
- ・学校図書館担当者会議（学期に1回程度開催）

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・保護者、地域向けに学校図書館ボランティア募集のチラシを配布
- ・中学校図書館の夏季休業中における地域開放
- ・図書委員（文化委員）によるオススメ本の紹介
- ・各学校の図書担当者がオススメ本の紹介文を作成し、まとめたり、リーフレットを夏季・冬季休業前に児童・生徒に配布
- ・本の貸し出し・返却

4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・市内中学校1校のみ電子化

5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・地域ボランティアによる絵本の読み聞かせなど

<阪南市>

1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、 行政からのサポート

- ・平成28年度については、学校司書を9名採用し、市単費で全小中学校に配置している。
- ・読書センターの機能充実だけではなく、学習センター・情報センターとしての環境整備を今後進めていくために、今後の小中学校の統廃合に合わせて、1校1名配置を目指している。
- ・全小中学校に「よみうりKODOMO新聞」、全中学校に「よみうり中学生新聞」の配置、日刊紙各学級数分の配置

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

阪南市子ども読書活動推進協議会

民間団体	はんなん子育てネットワーク代表
	子どもNPOはらっぱ代表
	社会福祉協議会代表
	阪南市子ども文庫連絡会代表
	阪南市みんなの図書館を考える会代表
学校関係	泉鳥取高等学校代表
行政関係	福祉部こども家庭課代表
	健康部健康増進課代表
	生涯学習部学校教育課代表
	生涯学習部生涯学習推進室代表
	生涯学習部図書館代表
民間団体	はんなん子育てネットワーク代表
	子どもNPOはらっぱ代表
	社会福祉協議会代表
	阪南市子ども文庫連絡会代表
	阪南市みんなの図書館を考える会代表
学校関係	泉鳥取高等学校代表
行政関係	福祉部こども家庭課代表
	健康部健康増進課代表
	生涯学習部学校教育課代表
	生涯学習部生涯学習推進室代表
	生涯学習部図書館代表

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・ 市教委主催研修
学校司書研修（年間10回程度）
（教育委員会＋学校司書）

回	平成27年度 研修内容
1	人権教育研修【講師：市教委指導主事】
2	本の紹介リーフレット作成について
3	本の紹介リーフレット作成について
4	本の紹介リーフレット作成について
5	阪南市立図書館新刊図書紹介【講師：市立図書館司書】
6	新学校図書システムの操作方法について
7	新学校図書システムの使用と課題について
8	下半期の研修について総括と計画
9	学校図書システムによる進級処理について【講師：(株)南大阪電子計算センター システムエンジニア】
10	「子どもが本と出会うとき」【講師：辻村 千良子さん】

4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・ 全小中学校で電算化

（H14年から導入：H27年度9月から新システムに入れ替え）

蔵書データについては、バーコード管理しているが、書誌データは手入力している。

5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・ 学校図書システムについて、小中学校がネットワークでつながっており、相互貸借をデータ管理できる。
- ・ 学校司書が主となり、学校司書研修を計画、実施している。（上記 表参照）研修の内容によっては、市立図書館との合同開催もある。

<泉南市>

1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポート

- ・ 学校図書館司書の配置 泉南市で2名

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

- ・ 子ども読書活動推進連絡協議会
- ・ 学校図書館担当者会議（学期に1回程度開催）

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・ 日々の貸し出し業務<各校>
- 4. 学校図書館の蔵書管理方法
- ・ 手作業による
- ・ 電子データにして管理<各校>

5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・ 地域ボランティアによる絵本の読み聞かせ

<泉南郡>

1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、 行政からのサポート

- <熊取町> ・学校図書館司書の配置
(全校に1名非常勤の配置)
- ・連絡会を月1回開催
- <田尻町> ・学校図書館司書の配置
(全校に配置)
- <岬町> ・学校図書館司書の配置
(3小に1人)

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

- ・**子ども読書活動推進連絡協議会**
対象年齢別の部会に分かれ、年2、3回研修会や
会合を行う<熊取町>
- ・**泉南郡小学校教育研究会 国語・図書館部**

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・年度初め各学年に図書担当や担任が図書室の使い
方のオリエンテーションをする<岬町>

4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・電子データにしてコンピュータによって
ネットでも蔵書の閲覧を可能にする<岬町>
- ・帳簿による管理・逆ブラウズ方式<熊取町>

5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・地域ボランティアによる絵本の読み聞かせなど